

会議議事録

会議名	令和4年度第2回 東京工科自動車大学校三校 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	令和4年10月7日（金） 15:00 ～ 17:00	
会場	東京テクニカルカレッジ テラホール(全体会・分科会) 11階教室(分科会)	
参加者	委員	20名 【出席者19名】 ◇1 級教育課程分科会 ・佐藤 康夫（全体会議長、1 級分科会議長） ・佐々木 章 ・酒井 彦樹・宮谷 真樹・増田 智秀・保田 正義・有松 真一 ・園田 幸祐・井上 真一・浅井 恵一（書記） ◇2 級教育課程分科会 ・松村 道隆（2 級分科会議長） ・国分 秀貴・永野 英臣・清 宏一郎 ・坂本 康将・山岸 幸弘・鈴木 雄也 ・武井 和則・澁谷 健（書記） 【欠席者1名】 ・油井 文江
	事務局	1名 戸辺 武（全体会書記）
全体会 配布資料	————— 全体会 —————	
報告事項	<p><配布資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料A・・・全体会説明資料（パワーポイント） ・資料B・・・高専教育連携協定について <p>1. 委員長開会挨拶 委員長より挨拶として下記の説明・報告がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度教育活動の進捗報告 ・「高専教育連携協定」について、推進（現況）及び、「文科省委託事業 高専連携」についての説明があった。（中野校校長・佐々木より） 	
協議事項	<p>議事</p> <p>2. 前回議事録の確認 ・事務局より令和4年度第1回教育課程編成委員会の議事録の概要について改めて確認がなされた。</p> <p>3. 分科会 議長・書記の選出 出席者の確認 事務局提案により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1級課程分科会 議長:佐藤委員長、書記:浅井委員 ・2級課程分科会 議長:松村委員、書記:澁谷委員 <p>→全員一致で承認</p> <p>4. その他 ・事務局より、SKY GROUP 新任委員の紹介を行った。</p> <p>以上をもって、全体会を散会とし、分科会に移行した</p>	

<p>1級分科会</p> <p>配付資料</p> <p>協議事項</p>	<p style="text-align: center;">————— 1級教育課程分科会 —————</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当初のコマシラバス:30コマ(1級科立ち上げの際に準備したもの) ● 現在のコマシラバス:10コマ(現在は口述試験に合わせて項目を減らしたもの) ● 2022年6月6日実施,「総合診断」カリキュラムに関する1級分科会意見のまとめ <p>1. 前回の振り返り及び参照資料の説明</p> <p>議長及び園田委員より前回の意見のまとめ(確認)と参照資料の説明があった。 園田委員より適切な授業コマ数等についてご意見をいただきたいとの要望があった。 また、議長より当初のコマシラバスは、実際に企業様で行っている社内教育を落とし込んだもので、その後これらから顧客満足度向上に関わるものは徐々にそぎ落とされていった経緯があり、今後企業様のニーズに応える部分としては使えるものがあるのではないかと説明があった。</p> <p>2. 振り返りの中での質問や資料への意見</p> <p>(学外委員 2)学校の方でこれは欠かせないという項目はどれか？ (園田委員) 礼儀, マナーなどの基本的な部分は押さえておきたい。</p> <p>(学外委員 2)応酬話法は2年制課程ではやらないのか？ (学外委員 4)お客様対応の授業があるのは4年生課程だけ。 (学外委員 4)前回出た提案はどれも大事なもので、30コマでこの内容の習得は難しいのではないか？やらなければならないことは、大事なものが抜け落ちていないか確認し、なおかつ、優先度をつけてご提案していくことになる。</p> <p>3. ディーラーでの教育について</p> <p>(学外委員 4)ディーラーでの新人教育ではほとんど問診はやっていない。まずは現場の流れを覚えなさいというスタンスなので、お客様対応は現場に出てから学ぶことになる。 (学外委員 3)技術がおぼつかないなかでは問診力は求められない。 (学外委員 5)弊社では研修期間を伸ばしている。技術的な面では12か月が一人で出来るまでだが、それに加えて外国籍の方は日本の文化まで。日本人は4か月で配属するが、外国籍の方は年内一杯。時間をかけて育てることが必要。</p> <p>4. 新カリキュラムに必要な要素</p> <p>(学外委員 2)若い人は①社会人としてのマナー, ②お客様の心に寄り添うような問診力, ③コミュニケーション能力, の3点が弱いと思う。 (井上委員) これから就職活動を行う3年次にカリキュラムを落とし込むと良いのかもしれない</p>
--------------------------------------	---

<p>2級分科会</p> <p>配付資料</p> <p>協議事項</p>	<p>(学外委員 1)エンドユーザーの立場だとユーザーレベルに合わせた説明をして欲しい。 (学外委員 2)ロープレは重要だが成果があるものにするにはチェックシートが重要になってくる。</p> <p>5. 今の授業で力がついているものは？</p> <p>(園田委員) お客様に話す流れは出来ていると思う。 (学外委員 4)まずは型を得るところで良いと思う。 (井上委員) 口述は廃止ではなく実技試験に含まれているので、技能は担保しなければならない。 (浅井委員) 問診すべき項目の理解と必要性が得られていると思う。</p> <p>6. 今後の方向性</p> <p>次の3点を軸としてカリキュラムを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ビジネスマナー ② 顧客対応能力 ③ コミュニケーション能力 <p>次回会議では整理・検討したものを学内委員より提案することとして、会議を終了とした。</p> <p style="text-align: center;">_____ 2級教育課程分科会 _____</p> <p>●各校変更概要、新旧対照表</p> <p>中野校カリキュラム変更後の状況報告(松村)</p> <p>前回報告のとおり、本年度より他の2校に先駆け変更カリキュラムがスタートした ただし変更カリキュラムは新入生向けであり、削減した大半が2年生科目のため違いが未だ出ていない状況である</p> <p>中野校で削減を行なった科目</p> <p>実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オートマチックトランスミッションの整備 ・ジーゼル燃料噴射ポンプの整備 ・ガス溶接作業(エンジンメンテナンス科) <p>講義科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車化学 ・ソーシャル検定中級講座(1級自動車整備科) <p>研修科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型車両企業研修(選択科目)
--------------------------------------	--

世田谷校・品川校のカリキュラム変更案報告

世田谷校報告(武井)

次年度のカリキュラム変更に向けた準備・検討を下記により行っている

実習科目

[据置]「オートマチックトランスミッションの整備」

講義科目の時間数だけで国家試験にすべて対応出来るか

不安があるため今回は据置とし、内容の見直しを検討したい

[削減]「ジーゼル燃料噴射ポンプの整備」は中野校同様に削減する

講義科目

[削減]「自動車化学」は中野校同様に削減する

研修科目

・「大型車両企業研修」は既に削減済みとなっている

品川校報告(澁谷)

次年度のカリキュラム変更に向けた準備・検討を下記により行っている

実習科目

[据置]「オートマチックトランスミッションの整備」

現物を目の当たりにした構造・作動理解に必要性を感じている。“自動変速機”
としてCVTを取り込むなど検討したいため削減見送り

[削減]「ジーゼル燃料噴射ポンプの整備」は中野校同様に削減する

[変更]「ジーゼルエンジンの診断整備」を「ジーゼルエンジン燃料装置の整備」に名称
変更し対応範囲を広める

講義科目

[削減]「自動車化学」は中野校同様に削減するが受験希望者はフォローする

[削減]「ソーシャル検定中級講座」(1級自動車整備科) は中野校同様に削減するが、
検定は受験するので就職対策講座等でカバーする必要がある

[削減]「校外研修展示会/企業見学」(1級自動車整備科) は「大型車両企業研修」と
同じ理由で減する

研修科目

[削減]「大型車両企業研修」は中野校同様に削減する

その他検討中の項目(1級自動車整備科固有)

・英会話科目「グローバルコミュニケーション」の時間短縮

・プレゼン科目「ワールドトラフィック」の科目名変更

報告に対する学外委員からの意見

・試験に出なくても市場では出回っており、削減に正解/不正解はないと思う

・東京工科は校毎に特徴学科があり、校での違いは問題にならないと思う

- ・高級車には最新の遊星式A/Tもある。油圧回路の現物理解は応用性が高い。またA/Tフルード交換等整備要領は必要
- ・試験如何ではなく、学校でしかできない経験を学生にさせて欲しい
- ・認証・指定工具の取り扱いがあったらそれは残して欲しい
- ・危険物資格が整備工場で優遇される事は伝えて声掛けしてほしい
- ・危険物取得に向けての勉強法は整備士取得にも通じるものがある
- ・2年制においても企業実習の実施がマッチング上有効であると思う

以上、準備・検証中であるがカリキュラム変更には学則変更を伴い、学則変更は学内の機関決定を経て文科省への届け出が必要となるため、10月校長会、11月理事会、翌年2月届け出のスケジュールに乗せて行く。その上で上記意見を参考にさせて頂く

その他

議長より、高専連携授業の概要説明および委員企業への受け入れ協力依頼を行なった

以上で散会となった

会議風景

【全体会】



【1級課程分科会】



【2級課程分科会】



以上